

第635回

# I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cニュースエコー

平成30年11月27日 (火)

(株) I B C 岩手放送

## 第635回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年11月27日(火) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 佐藤 求 宮 順子

菅原 和彦 小松 務

龍澤 尚孝 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役放送本部長

中島 勝志 報道局長

中村 好子 報道部長

高橋 和人 報道部副部長

宿輪 智浩 テレビ編成部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 IBCニュースエコー (月～金 午後6時15分～)

※視聴用DVD 11月6日(火)放送分

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- この時間帯の視聴者層であろう主婦、自営業、高齢者の方々に対して、ニュースを視聴者目線でわかりやすく伝えている。加えて「復興への羅針盤」、「スポーツⅠ」、記者解説といった特集コーナーを設けて、興味を引くような素材をタイムリーに扱っていることが長く県民に親しまれる理由につながっている。
- ネットやスマホの普及で世界のニュースや出来事を瞬時に知ることができるこの時代に、番組をさらに息の長いものとするためにも、視聴者をもっと放送に巻き込んで双方向的な番組にするような付加価値も今後は必要になってくるのではないかと。
- 全体的に話題が豊富でバランスが取れているという印象。11月6日のニュースは、競馬組合の禁止薬物問題についての中継が入って緊迫感、リアリティが伝わるころからスタートし、楽天の鈴木投手の指名の話、その後は県内のわりと喜ばしいニュースが続く流れだった。また「平成メモリーズ」のコーナーはこれまでのニュース映像等を含めて振り返ることによって、「あっ、こんなこともあったな」と感じる事ができた。
- キャスターは親しみやすい感じでニュースがきちんと伝わる。IBCが持っている過去の映像は説得力や立体的な理解に役立っている。
- 11月7日の「復興への羅針盤」で水産加工業を取り上げていた。去年は記録的不漁だったサンマが、今年は復活傾向にあることが倉庫の映像の比較で良くわかった。またコメントも2年続けて同じ人から話を聞いていて、状況の変化がよくわかった。今後も「復興への羅針盤」で、いろいろと報道していただきたい。
- 11月6日の室根神社特別大祭の特集を非常に興味深く見た。自然と共生しているような祭りで、歴史を感じる。地元の人が主役になって祭りを楽しむのはすごく大切なことで、そういうのを取り上げるのは意味があることだと思う。
- 記者解説のコーナーはいろいろな話題を取り上げていて興味深く見ている。ただ特集の室根神社特別大祭は尺が7～8分あり、良い内容だがこの時間では最後まで見られない人がいるのではないかと。別の機会での放送や配信も考えてほしい。